

	No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%		25%	・スペースの問題があり難しい面もある
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		・曜日により不足とを感じる時もある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	75%	33%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		。保護者のニーズ応えられるように努力している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	50%	50%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		75%	25%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		・施設独自で行っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・スタッフ全員が立案できるようになっている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25%	50%	25%	・コミュニケーションツールを使って情報共有をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25%	50%	25%	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	50%			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				

No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等や保護者と連絡体制を整えているか	75%	25%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	50%	25%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		25%	75%	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		75%	25%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	50%	25%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		25%	75%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	50%	25%	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%				

No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	75%	25%		・未就学児の利用時に訓練を行っており、放デイでの活動は出来ていない
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	50%		・個別支援計画書には記載していない
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%		・保護者への核を行っている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			

討議実施日：令和3年4月19日

実施場所：デイサービスALOHAキッズ

参加職員：ALOHAキッズ職員 管理者：村田 作田 鐘ヶ江

実施目的：保護者評価結果と事業者評価を踏まえて立てた改善目標に沿って支援内容を改善する

【項目ごとの課題や工夫している点】

① 環境・体制整備

人員も増えているため、環境調整が必要である。工夫しながら室内、室外で過ごすようにしている。今後、シンフォニア等（法人内の他の施設）の利用の検討もしていく

② 業務改善

PDCAサイクルをまわすことが出来ておらず、支援に対する意識のばらつきもある。必要な事をアセスメントする力を全体的に身に着ける必要もあるため、勉強会の実施などスタッフ全員で取り組めるようにしていく。まずは、職員の意識改革を行う。

③ 適切な支援の提供

個人の知識の差が出ている。個人個人で考え動いている所もあり、施設全体で同じ支援が行えるように、声掛けを行っていく。

④ 関係機関や保護者との連携

モニタリングなどで、関係機関とのやりとりはスムーズに行えている。

⑤ 保護者への説明責任等

保護者とのやりとりをして、送迎時など話しをするようにしている。必要に応じて内密相談等を受け、返事をしている。

⑥ 非常時の対応

放デイでの訓練がまだ行えていないので、今後取り組んでいく。

【評価表に対するコメントと改善目標】

PDCAサイクルとは何か？何のためにするのか？行ったら、自分がすることは何かを職員がまず理解すること。理解した中で、スタッフへ伝えることはしっかりと確実に伝え、支援に活かす。保護者とは、今までと同様、話をさせていただく中、機会を作り、情報交換・共有を行う。個別支援に活かせるよう、連絡を密にとるように心がける。

令和
02年
度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

【対象者：正職員】

《事業所名》
デイサービス ALOHAキッズ

No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
-----	--------	----	---------------	-----	----------------

自己評価表公表先 ホームページURL：<https://aloha.sora-net.or.jp/eval/>